

社協だより

かしわ

2021年 春号 NO.80



はるかぜ、デイサービス
合同の手作りクリスマス会

発行者：生坂村社会福祉協議会 TEL69-3000 FAX69-3091
<http://www.ikusaka-shakyo.or.jp/>
E-mail : info@ikusaka-shakyo.or.jp

印刷：有限会社花岡印刷

 社協だより「かしわ」は、共同募金の配分金で発行されています。

クリスマスを楽しみマス！

クリスマス会

12月



はるかぜとデイサービス合同で、クリスマス会を開催しました。
最初のステージは宇留賀の島 幸恵さんによるギターの弾き語りです。唱歌から演歌、クラシックまで色々なジャンルの曲を披露できるマルチプレーヤーです。ギターの演奏に合わせて大勢の方が一緒に歌って楽しんでいました



(ギターの弾き語り)

次のステージは、生坂ハーモニークラブの面々の登場です。季節に合わせた曲を、得意のハモニカで演奏しました。哀愁を帯びたメロディーはいつ聞いても感じるものがありました。月に2度の定期練習をしているだけあってメンバーの息もピッタリ合っていました。
今回は催しに合わせ、「ジングルベル」「聖しこの夜」など定番のクリスマスソングを披露してくれました。



続けて生坂ハーモニーのメンバーでもある高橋さんが、「フーテンの寅さんに扮して、「男はつらいよ」のテーマ曲を、得意のハモニカで披露しました。



(生坂ハーモニーが熱演)



利用者の皆さんは、次に何を披露してくれるのか興味津々で登場を待っていました。



(スターダンサーの踊り)



いよいよこれよりメインイベントのステージです。

1本目は、なんと出ました「東京の花売り娘」ここでは娘は（おばさん）と読んでください。

どうですかこのステップとキレキレの踊りはただ者ではないでしょう？ そうです社協ダンサーが訓練を重ねた結果です
ご要望があれば、またの機会に披露いたします。ちなみに、この曲歌っていたのは、「岡晴夫」との事です。

2本目は名曲「王将」です。見ての通り、駒を身にまどつての踊りです。

「王将」「金」「銀」から「歩」に至るまで多くの駒が（踊り手が）勢揃いして曲に合わせて踊ります。決して大きな将棋盤に乗って一局対決する訳ではありません。踊り手が乱舞する異様な踊りのステージは圧巻と言う他はありません。なんとホールの床が将棋盤に見えてきました。



(いよいよ始まります)

クリスマス会の楽しみは何といってもプレゼントではないでしょうか。いくつになってもサントからのプレゼントはうれいものです。



今回のプレゼントは職員が心を込めた手作りの可愛いキーホルダーと今の時期にはピッタリの社協マスクをサントより贈りました。お茶の時間はケーキも食べて幸せいっぱいでした。



午後の短いひと時でしたが、利用者の皆さんには、一つの大きな思い出になって良かったと喜んでいただけたことでしょう。

コロナ禍のこんな時節だからこそ、皆さんが愉快地楽しく過ごせる時間が大切になっていきます。
時が経てば何も心配することなく話をしたり遊びに行ったり、自由に出来る事もそんなに先の事ではないと願ってやみません。

来年の干支は丑！

12月



元氣塾では来年に向けて正月飾りを作りました。
材料は工作用に用意されたものですが、説明書通りに切ったり貼ったりして壁飾りを作っています。
パーツだけの状態を見ると、本当に出来上がるのかと誰もが心配します。でもしばらく作業を進めると、だいぶ形に近づいてきて出来上がりが楽しみななってきました。

昔を思い出して

元氣塾で脳トレ、認知症予防として「思い出ノート」を使っているプログラムのを行いました。

ノートの内容は沢山ありますが、今回は小、中学校の思い出に限定して振り返りました。

この時期の思い出で多かったのは、友達との遊びや勉強に苦労した事、いたずらして怒られた事や今と違う食糧事情など同世代の感覚で話も盛り上がりました。



班の編成で気分一新！

新年度4月より元氣塾の班編成を組み直します。

どこのサロンや団体も高齢化や人口減少で先が心配される昨今です。元氣塾の参加者も減少傾向にあります。合わせてコロナ禍のマイナス条件も重なり開催さえ取りやめしなければならず本当に忍の時期が続きました。

開催が必要な一般介護予防事業の柱である教室を一新して試みようと計画しました。

班	対象地区
1	小立野、 下生野(新田、上の平、大道上)
2	日岐、 下生野(睦、宮上、中海道、北部、南部)
3	上生坂
4	下生坂
5	草尾、昭津
6	大日向、宇留賀、古坂

三密状態を避けることが感染防止のために大切な事です。外部との連携や研修のために遠隔でのやりとりが必要になってきました。社協でも部屋の一角にズーム装置を導入して、オンラインにて松本ブロックの会議や必須研修の講義、シンポジウムなどに参加しています。この状況の中では今後も主流になっていくでしょう。

「ICT整備」 コロナ禍で変化



音楽に合わせて運動！

3月

コロナ禍の中、思うように外出もままならない時期が続いています。そんな中、「元氣塾」と「生坂おとこ塾」では、感染症対策を万全にして運動教室を開催しました。

音楽運動指導士の講師を招いて運動機能向上を目指したDAMの音楽プログラムで楽しみながら行いました。



(リズムに合わせて!!)



(脳トレ的一幕)

椅子に座ったままで音楽に合わせて、手足の筋力向上やコリを緩める運動などをします。



音楽を使うことで、楽しみながら気楽にできたり体が自然にリズムに乗って動いたり良いことが多くあります。

手の指回しなどは何も考えずに胸の前で親指から小指まで順番に回していくだけでも認知症の予防に効果があるそうです。お風呂の中で皆さんやってみて下さい。

その他、ゆるーい運動をメインに少し時間が長くなってもそんなに疲れないプログラムを考えて実践しました。



(指をくるくる廻します)



ヘルパーステーションが 移転しました！

3月

法人事務所内で一緒になっていましたヘルパーステーションが独立した部屋になりました。

自宅に訪問して生活援助や身体介護をする仕事は大変ですが大勢の方が頼りにして安心してお願いできる方々がそろっている部署でもあります。

社協に用事の折には尋ねてみてください。

「災害対策プロジェクト」発足

社協では三月三日、事業継続計画（BCP）の策定を主目的とした「災害時等対策検討プロジェクト」会議（略称「災害P」）を社協各部署から人選し発足しました。

この背景としては、①過去幾度となく水害や土砂災害に見舞われた歴史を持つ村にあつて、一七〇〇人余りの人口の四二・二％が六五歳以上という高い高齢化率では、災害時の要支援者の避難計画・支え合いマップ作りが急がれていること、②村が進める要配慮者支援マニュアル策定に、社協も参画していること、③厚生労働省が新型コロナウイルスの流行や近年の自然災害の増加傾向などにより、介護保険事業所の運営基準を見直す方針を固め、有事に備えるBCPの策定やシミュレーション、

研修の実施の義務化に加え、災害を想定した訓練を地域住民と連携することを努力義務としたことが挙げられます。地域福祉推進の中核的組織である社協としては、地域づくりを進める一方でこれらの施策と連携したBCPを策定するため、事業を横断した検討グループを組織する必要があると判断しました。



図1 会議の様子

第一回目の会議では、こうしたプロジェクトの設置背景や意義を共有するとともに、松本ブ

ロック社協の災害ボランティアセンター担当者会議が主催し、新型コロナウイルスの影響で各社協に分散して開催することになった災害とBCPに関する研修会を合わせて行い、災害時の社協の役割や、BCP策定の重要性を理解しました。

災害Pでは今後、各部署の意見を集約しながら、関係機関との連携を踏まえたBCP策定に向けた検討を進め、また、県社協などと協働している災害福祉カンタンマップによる、事前避難準備を必要とする方の把握な

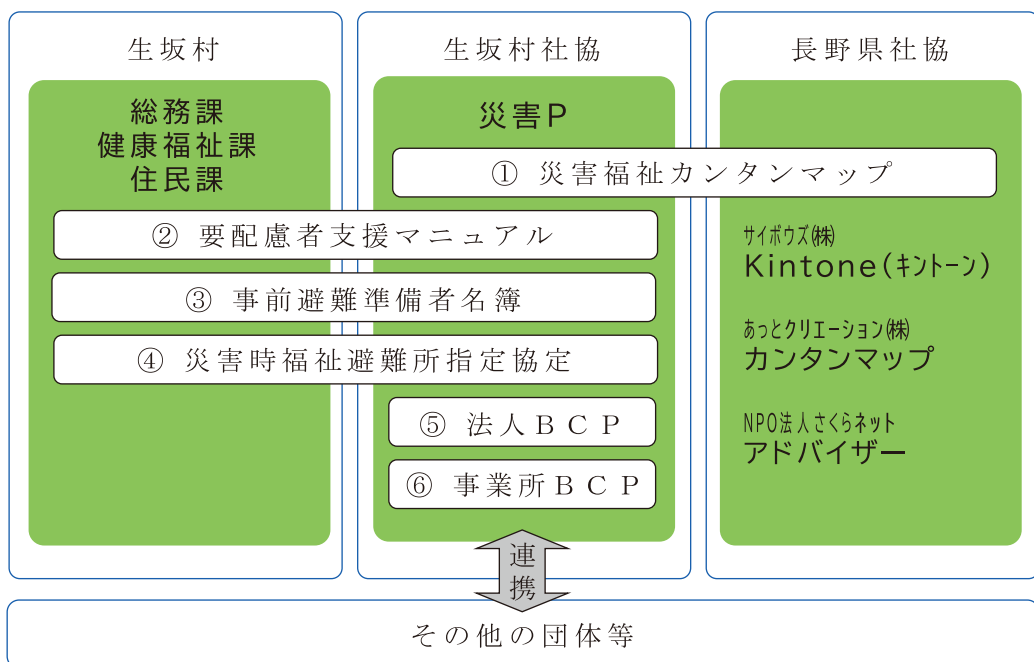


図2 災害Pの役割

どに努め、安心して住み続けられる村の構築と、社協本来の役割である地域づくりをさらに進めるために活動を続けていきま

こんな方に**成年後見制度**！

任意後見

しょうらい にん ち しょう とき
 将来、認知症になった時に、
 ざい さん かん り とう しん ばい
 財産の管理等が心配！



ざい さん かん り けい やく とう し えん
 財産管理や契約等を支援する
 にん い こう けん にん えら
 任意後見人を選んでおける。

はん だん の う り よく ふ じゅう ぶん
 判断能力が不十分で、
 けい やく て つ づ き
 契約や手続がとどこおる！



せい ねん こう けん にん とう ほん にん か
 成年後見人等が本人に代わって、
 けい やく て つ づ き
 契約や手続をしてくれる。

法定後見

もの わす
 物忘れがひどくなり
 だ ま さ れ て 借 金 を くり 返 す ！



せい ねん こう けん にん とう ふ とう けい やく
 成年後見人等が不当な契約を
 と け
 取り消してくれる。

ただ はん だん
 正しい判断ができず、
 ふ とう けい やく む す
 不当な契約を結ばされる！



●「成年後見制度」の種類●

任意後見	法定後見		
	補助	保佐	後見
将来に 備える方へ	判断能力が 不十分な方へ	判断能力が 著しく 不十分な方へ	判断能力が 欠けているのが 通常の状態の方へ
判断能力が あるうちに 任意後見人を選定	一部の 契約・手続等の 同意・取消や代理	財産上の 重要な契約等の 同意・取消や代理	すべての契約等の 代理・取消 <small>※日常生活に関する行為は除く</small>
自分で選んだ人を 任意後見人に することができる	家庭裁判所が補助人、保佐人、成年後見人を選任 (本人の親族、法律・福祉の専門家、その他の第三者、 福祉関係の法人やその他の法人)		

社協では日常生活自立支援事業も実施しています。
 相談は社協窓口及び村包括支援センターまでお願いします。

掲示板(報告、お知らせなど)

令和2年7月豪雨災害義援金

期 間	設置個所	義援金金額 (円)
11月	3	19,339
12月	3	11,034

令和2年7月に発生しました豪雨災害につきまして、多くの皆様より義援金をいただきました。義援金は、日本赤十字社長野県支部に送金、集約され被災地の皆様に配分されます。

この募集は、令和2年12月をもって終了しました。
累計の合計は、98,171円になりました。 ご協力に感謝いたします。

引き続き災害義援金の募集をしています。(台風19号災害について)
「いくさかの郷」に募金箱を設置していますのでよろしくお願ひします。

令和2年度赤い羽根共同募金結果報告

10月に全戸募金をお願いした結果を報告します。

期 間	戸数	募金額
10月1日～31日	611件	609,500円

寄付金

五十嵐長治	様	
藤澤 博文	様	
匿名	様	20,000円
匿名	様	50,000円

皆様より善意を戴き心より感謝致します。
検討して福祉活動に有効に利用させていただきます。

コロナ禍による

緊急小口資金、総合支援資金特例貸付についての受付は
令和3年3月31日をもって終了します。

編集後記

季節は変わり、芽吹きも始まり自然の世界は順調に繰り返していますが、世の中は
昨年の春に続いて2度目の寂しい春となりお花見や外出も自由にできません。

少し明るい光が見え始めても安心して過ごせる様になるのはまだまだ先の事かも
知れません。

*社協だより「かしわ」はホームページからもご覧いただけます。日々の出来事も掲載されていますので是非、ご覧ください。